

キリスト教に関する学生の意識調査について

鹿兒島純心女子大学は「カトリック精神に基づく人格教育を行い、有為な人材を育成する」事を教育理念として「聖母マリアのように神様にも人にも喜ばれる女性」を建学の精神にかかげ、純心学園共通の標語である「マリアさま、嫌なことは私がよるこんで」の実践に励みつつ、「いのちを育む知性と愛」を身につけようと努める高等教育の共同体である。

本学のカリキュラムでは、「キリスト教概論Ⅰ」(看護学科「キリスト教論」)、「純心講座」(看護学科「建学の精神と看護」)を四学科共通に一年次必須科目とし、「人間の探求」はことばと文化学科では選択、他の3学科で必修。女性学(看護栄養学部必修)キリスト教概論Ⅱ、家族論、哲学などを選択科目としている。また、近年は他の目的に使用される事も多くなったが、週一回全学一斉のアセンブリーアワーも本来的には学生相互、教職員と学生のコミュニケーションの場として設けられたものである。入学祝賀ミサ、卒業感謝ミサ、卒業前特別セミナー、学内クリスマスなどの学内行事にもミッションスクールとしてのカラーがあらわれている。また豊かな自然の中に、チャペルを正面に置き処所に聖像を配したキャンパスのたたずまいも聖母マリアを理想と仰ぐ学び舎にふさわしいといえよう。

本稿は、こうした教育環境の中で四年間を過ごした学生に、キリスト教に関する意識に関して何らかの影響が見られるものかどうかを知ろうとして、三学年にわたり入学時と四年後の卒業時にほぼ同一の調査を行ったものの単純集計によるまとめである。後に「検討」の項で述べる通り、所期の実態把握よりも調査そのものの問題を露呈する結果となったが、キリスト教文化研究センターが一定期間行った試みの報告として、ありのままをここに掲載して今後の参考に資するものとした。

キリスト教に関する学生の意識調査（新入学生）

学生の皆さん、皆さんのキリスト教に関する意識の実態を知り、それによって本学での教育がそれにどのような影響を持ち得るかを知ることによって、今後の教育改善に役立てたいと願い、この調査を計画しました。ご協力をお願いいたします。

なお、学部・学科のみ記入し、氏名は無記名をお願いいたします。
回答は、該当する答えの番号・記号を○印でかこんでください。

キリスト教文化研究センター

年 月 日

アンケート(新入学生)

- 1-1 学部: 1)国際人間学部 2)看護栄養学部
1-2 学科: 1)ことばと文化学科 2)こども学科
3)看護学科 4)健康栄養学科

2. 宗教は人間(社会)にとって有意義だと思いますか?

- 1)思う 2)思わない 3)分らない

3. キリスト教に関心がありますか?

- 1)大いにある 2)少しはある 3)どちらかと言えない
4)全くない

*理由があれば書いてください。

4. 本学がカトリック精神を基とする大学であることが、大学選択において影響しましたか?

- 1)主な理由になった 2)理由の一つになった 3)関係ない

5. 以下のことで知っている項目の番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-----------|----------------|----------|
| 1)カトリック | 8)洗礼 | 15)旧約聖書 |
| 2)プロテスタント | 9)ミサ | 16)預言者 |
| 3)聖母マリア | 10)ロザリオ | 17)十戒 |
| 4)十二使徒 | 11)フランシスコ・ザビエル | 18)聖体 |
| 5)教皇(法王) | 12)原罪 | 19)復活祭 |
| 6)牧師 | 13)マルチン・ルター | 20)使徒パウロ |
| 7)最後の晩餐 | 14)新約聖書 | |

6-1 本学のキリスト教的な教育に期待しますか?

- 1)期待する 2)期待しない 3)分らない

6-2 上記の質問で1)を選んだ人に。特に何を期待しますか？

- 1)キリスト教の知識 2)キリスト教的な価値観
3)折々の宗教行事への参加 4)チャペル
5)シスターなどとの個人的な関わり

7-1 以下の考えの中で該当する答えの番号を○で囲んでください。

- | | そう思う | どちらでもない | そう思わない |
|--------------------------------|------|---------|--------|
| 1)何らかの意味で
神や仏は存在する | 1 | 2 | 3 |
| 2)人は死んだら全てが
終わる | 1 | 2 | 3 |
| 3)科学が進歩すれば
神秘的なものも説明がつく | 1 | 2 | 3 |
| 4)人に迷惑をかけなければ
したいことをしてもよい | 1 | 2 | 3 |
| 5)人が認めてくれなければ
良いことをしても意味がない | 1 | 2 | 3 |

7-2 以下のことはあなたにとって許せないことだと思いますか？ 該当する番号を○で囲んでください。

- | | そう思う | どちらでもない | そう思わない |
|--------------|------|---------|--------|
| 1)他人に嘘をつくこと | 1 | 2 | 3 |
| 2)人工妊娠中絶 | 1 | 2 | 3 |
| 3)夫婦間以外の性的関係 | 1 | 2 | 3 |
| 4)自殺 | 1 | 2 | 3 |
| 5)離婚 | 1 | 2 | 3 |

(次頁へ続く)

6)避妊薬・避妊具の使用	1	2	3
7)結婚前の性的関係	1	2	3
8)賄賂 ^{わいろ}	1	2	3

8. 自分の宗教は

- 1)仏教 2)神道 3)キリスト教 4)その他の宗教
5)無宗教 6)分らない

9. あなたの家の宗教は

- 1)仏教 2)神道 3)キリスト教 4)その他の宗教
5)無宗教 6)分らない

10. 本学に期待することを三つまで箇条書きにしてください。

1)

2)

3)

11. その他、書きたいことがあれば、ご自由にどうぞ(紙面がたりなければ裏面にも)。

ご協力ありがとうございました。

キリスト教に関する学生の意識調査（卒業学生）

学生の皆さん、皆さんのキリスト教に関する意識の実態を知り、それによって本学での教育がそれにどのような影響を持ち得るかを知ることによって、今後の教育改善に役立てたいと願い、この調査を計画しました。ご協力をお願いいたします。

なお、学部・学科のみ記入し、氏名は無記名をお願いいたします。
回答は、該当する答えの番号・記号を○印でかこんでください。

キリスト教文化研究センター

年 月 日

アンケート(卒業学生)

- 1-1 学部: 1)国際人間学部 2)看護栄養学部
1-2 学科: 1)ことばと文化学科 2)こども学科
3)看護学科 4)健康栄養学科

2. 宗教は人間(社会)にとって有意義だと思いますか?

- 1)思う 2)思わない 3)分らない

3. キリスト教に関心がありますか?

- 1)大いにある 2)少しはある 3)どちらかと言えない
4)全くない

*理由があれば書いてください。

4. 本学に4年間学んでみて、本学がカトリック精神を基とする大学であること
どのような思いを持ちますか。

- 1)満足している 2)特に何も思わない 3)満足していない

5. 以下のことで知っている項目の番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-----------|----------------|----------|
| 1)カトリック | 8)洗礼 | 15)旧約聖書 |
| 2)プロテスタント | 9)ミサ | 16)預言者 |
| 3)聖母マリア | 10)ロザリオ | 17)十戒 |
| 4)十二使徒 | 11)フランシスコ・ザビエル | 18)聖体 |
| 5)教皇(法王) | 12)原罪 | 19)復活祭 |
| 6)牧師 | 13)マルチン・ルター | 20)使徒パウロ |
| 7)最後の晩餐 | 14)新約聖書 | |

6-1 本学に4年間過ごしてキリスト教的なものから何か影響を受けましたか?

- 1)受けたと思う 2)何も受けなかった 3)分らない

6-2 上記の質問で1)を選んだ人に。特に何を期待しますか？

- 1)キリスト教の知識 2)キリスト教的な価値観
3)折々の宗教行事への参加 4)チャペル
5)シスターなどとの個人的な関わり

7-1 以下の考えの中で該当する答えの番号を○で囲んでください。

	そう思う	どちらでもない	そう思わない
1)何らかの意味で 神や仏は存在する	1	2	3
2)人は死んだら全てが 終わる	1	2	3
3)科学が進歩すれば 神秘的なものも説明がつく	1	2	3
4)人に迷惑をかけなければ したいことをしてもよい	1	2	3
5)人が認めてくれなければ 良いことをしても意味がない	1	2	3

7-2 以下のことはあなたにとって許せないことだと思いますか？ 該当する番号を○で囲んでください。

	そう思う	どちらでもない	そう思わない
1)他人に嘘をつくこと	1	2	3
2)人工妊娠中絶	1	2	3
3)夫婦間以外の性的関係	1	2	3
4)自殺	1	2	3
5)離婚	1	2	3

(次頁へ続く)

6)避妊薬・避妊具の使用	1	2	3
7)結婚前の性的関係	1	2	3
8)賄賂 ^{わいろ}	1	2	3

8. 自分の宗教は

- 1)仏教 2)神道 3)キリスト教 4)その他の宗教
5)無宗教 6)分らない

9. あなたの家の宗教は

- 1)仏教 2)神道 3)キリスト教 4)その他の宗教
5)無宗教 6)分らない

10. 本学でえたものを三つまで箇条書きにしてください(資格等は除く)。

1)

2)

3)

11. あなたは本学在学中にどのような面で自分が成長したとおもいますか。

12. その他、書きたいことがあれば、ご自由にどうぞ(紙面がたりなければ裏面にも)。

ご協力ありがとうございました。

設問 6-1, 6-2

学年	回答者数	6-1. 本学のキリスト教教育										6-2. 期待する影響を受けた、とした回答者に との交り				
		キリスト教教育に 4年間にキリスト教の影響を 受けた	期待する 43	期待しない 31	分からない 107	何に期待? 8	価値観 20	宗教行事 2	チャペル 5	人との交り 7						
'07入	184	138	38	51	109	23	53	108	47	33	104	4	24	156		
'10卒	93	74	16	3	8	21	64	7	40	46	16	19	58	1	12	80
'08入	165	132	26	6	18	42	105	33	52	79	35	35	95	8	20	137
'11卒	98	75	20	3	8	30	60	12	37	49	9	19	70	2	13	83
'09入	143	108	33	3	16	42	86	29	51	64	20	24	100	2	21	121
'12卒	112	84	24	4	10	34	68	15	55	42	8	28	75	0	12	100

設問 7-1

学年	回答者数	7-1. 1) ~ 5) の考えについて										7-1. 1) ~ 5) の考えについて		7-1. 1) ~ 5) の考えについて		7-1. 1) ~ 5) の考えについて	
		1) 何らかの意味で 神や仏は存在する	2) 人は死んだら全ては 終わる	3) 科学が進歩すれば神秘 的なものも説明がつく	4) 人に迷惑をかけなければ したいことをしてもよい	5) 人が認めてくれないと 意味がない	△	○	×	△	○	×	△	○	×	△	○
'07入	184	138	38	51	109	23	53	108	47	33	104	4	24	156			
'10卒	93	74	16	3	8	21	64	7	40	46	16	19	58	1	12	80	
'08入	165	132	26	6	18	42	105	33	52	79	35	35	95	8	20	137	
'11卒	98	75	20	3	8	30	60	12	37	49	9	19	70	2	13	83	
'09入	143	108	33	3	16	42	86	29	51	64	20	24	100	2	21	121	
'12卒	112	84	24	4	10	34	68	15	55	42	8	28	75	0	12	100	

設問7-2

学年	回答者数	7-2. 1) ~ 8) のことはあなたにとって許せないことと思えますか？ ○ そう思う △ どちらでもない × そう思わない																							
		1) 嘘をつくこと		2) 人工妊娠中絶		3) 夫婦間以外の性的関係		4) 自殺		5) 離婚		6) 避妊薬避妊具の使用		7) 結婚前の性的関係		8) 匿路									
		○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×						
'07入	184	59	93	31	64	80	39	112	52	19	107	43	13	29	68	86	10	34	138	10	61	112	118	31	12
'10卒	93	20	48	25	14	48	31	34	46	11	43	42	8	4	47	41	2	17	74	1	20	73	60	23	8
'08入	165	61	70	34	57	75	33	114	38	13	106	46	13	22	77	66	11	32	121	18	53	95	127	27	9
'11卒	98	28	49	20	19	54	26	47	32	19	52	34	12	4	49	45	7	23	69	5	29	69	65	26	6
'09入	143	51	72	21	60	63	21	93	36	15	89	45	11	22	58	64	11	28	105	13	48	82	111	23	8
'12卒	112	40	48	24	28	64	20	55	42	15	52	51	9	3	50	59	3	28	79	5	32	75	77	26	9

設問8-9

学年	回答者数	8. 自分の宗教は						9. あなたの家の宗教は					
		1) 仏教	2) 神道	3) キリスト教	4) その他宗教	5) 無宗教	6) 分からない	1) 仏教	2) 神道	3) キリスト教	4) その他宗教	5) 無宗教	6) 分からない
'07入	184	66	4	6	6	48	58	98	9	7	1	27	44
'10卒	93	34	4	3	1	30	21	54	3	2	0	28	25
'08入	165	64	6	2	1	37	56	86	5	1	2	21	50
'11卒	98	35	3	0	1	24	33	49	4	0	2	12	30
'09入	143	66	4	6	0	48	58	98	9	7	1	27	47
'12卒	112	34	4	3	1	30	21	54	3	2	0	28	15

記述式回答

設問3 (キリスト教に関心が「ある」とした回答者に)

キリスト教に関心がある理由	2010 (平成22) 年度卒業
<p>2007 (平成19) 年度入学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養として知りたい。 ・三大宗教の一つ/世界の多くの人が持つ宗教として興味がある。 3 ・幼稚園/中学高校でキリスト教に触れて興味をもった。 5 ・仏教で育ったので外国の宗教を知りたい。 ・自分の中で謎が多い。 ・看護の精神に通じるものがあるから。 ・聖書と芸術を知り、歴史的真相を知りたい。 ・祖父母がキリスト教だったので。 ・プロテスタントの信者だから。 ・聖書の勉強をしたいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人でそのような宗教に入っている人と会ったことがない。 ・幼稚園、保育園/中学高校/大学でカトリックに触れて学んだから。 4 ・純心に入学して相手を思いやる精神とかが素敵だなと思ったから。 ・家がキリスト教徒ではないから。 ・信仰しているわけではないが、人間にとっての宗教に対して興味があるから。
<p>2008 (平成20) 年度入学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーがプロテスタントだったので。 ・キリスト教の幼稚園/純心に6年間いて多くを学んだから。 ・聖書を読んで興味をもった。 ・マザーテレサを尊敬している。 	<p>2011 (平成23) 年度卒業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神さま、嫌なことは私が、の精神が素晴らしいと思うから。 ・純心に入ってから、シスターのお話をきいて。 ・教会に一步はいると空気がかわる。あの空間が不思議で関心をもっている。 ・素敵な言葉がたくさん聖書にはあるから。
<p>2009 (平成21) 年度入学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他国の人を良く知るために必要と思うし、ミサの時の説明で仏教よりも神さまを身近に感じたから。 ・知らないことが多いので知ってみたい。 ・[入学祝賀ミサに参加した時、心が洗われた気がしたから。 	<p>2012 (平成24) 年度卒業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史が好きだから。 ・人は弱いから何かにすがりたくなる気持ちがあるから。

設問10・ 同種回答数の多いものから10位まで、及び特色ある回答をとる。

入学生	2007 (平成19) 年度入学時	卒業予定者	2010 (平成22) 年度卒業時
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人格形成 ・ わかりやすい授業 ・ 管理栄養士専門教育 ・ 服装の自由 ・ 思いやりの心を育む ・ 他大学ではできない経験 ・ 夢の実現 ・ 学生と教職員のコミュニケーション ・ 自立 ・ 楽しい ・ 制服をつくる ・ 聖歌を歌うこと ・ 購買部の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 13 7 7 3 3 3 3 3 3 2 2 2 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いやりの心 ・ 友情、友人 ・ 人と人との絆、人間関係 ・ マリア様、いやなことは私が喜んでの精神 ・ 助け合い、協力 ・ 知識、技術、教養 ・ 自己の確立、自主性 ・ キリスト教の知識、精神 ・ 責任感 ・ 心のあたたかさ、癒しさ ・ 尊敬できる先生 ・ 感謝の心 ・ 英語でのコミュニケーション能力 ・ 礼儀作法 ・ 自分の意見を持つことの重要性 ・ 人のために尽くすことの素晴らしさ ・ 生と死についての考え方 	<ul style="list-style-type: none"> 19 12 11 9 8 5 4 4 4 3 3 3 3 3 3

(設問10. つづき)

2008 (平成20) 年度入学時	2011 (平成23) 年度卒業時
<ul style="list-style-type: none"> ・充実した授業 8 ・特色ある大行事 7 ・人としてのあるべき姿 7 ・キリスト教の行事 3 ・思いやりの心、優しさ 3 ・良い環境と雰囲気 2 ・学生への様々な支援 2 ・バスの増便 2 ・実習を多くとりたい ・国家試験対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり 22 ・友人、友情 19 ・人間関係の形成、出会い 18 ・感謝する心 9 ・優しさ 8 ・奉仕の心 6 ・「マリア様、嫌なことは私がよろこんで」の精神 5 ・知識、一般教養 5 ・生きる意味、生きる力 4 ・コミュニケーション能力 4
2009 (平成21) 年度入学時	2012 (平成24) 年度卒業時
<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教についての知識、歴史、文化 19 ・資格取得 16 ・女性らしさ、女性としての品位 11 ・キリスト教精神、価値観を学ぶ。 10 ・人間的成長 10 ・先生方その他の良い人間関係 8 ・楽しい学生生活 7 ・充実した学生生活 7 ・一般知識をふやす 6 ・学生支援、進路指導 5 ・礼儀作法 5 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人 16 ・思いやりの心 14 ・人との関わり、コミュニケーション能力 10 ・優しさ 8 ・嫌なことは私がよろこんで 7 ・女性としての举措、教養 6 ・礼儀作法 6 ・忍耐力、あきらめないこと 6 ・明るさ 6 ・積極性、自発性 5 ・キリスト教の知識、考え方 5

設問1.1. (卒業学年のみ) 同種回答数の多いものから1.0位まで、及び特色ある回答をとる。

本学在学中に成長したと思う面	
2010 (平成22) 年度卒業	2011 (平成23) 年度卒業
<ul style="list-style-type: none"> 精神的な強さ 8 内面的成長 8 他人を思いやることができる 7 対人関係、人との接し方 6 考え方の広がり、受け容れる心 3 人のために何かをしたいという望み 3 自分に向き合えるようになった 2 常識としての作法を学んだ 2 全てに「ありがとう」と言える心 2 優しい気持ち 2 自己責任の重さと未熟さの自覚 他人の話を聴き取みにしない批判力 世界を見る目が変わってきた 	<ul style="list-style-type: none"> 心、精神面の成長 9 精神的な強さ 4 受け入れる心、共感、思いやり 4 考える力、想いの豊かさ 4 人と向き合う姿勢、人間関係の築き方 3 あきらめないで努力する根性があった 3 周りの人への思いやり 3 面倒な事、嫌な事も自ら進んでできる 2 面倒な事、嫌な事を知り、心理的に成長した 2 様々な人と触れ合い、視野が広がった 2 失敗を恐れない前向きな姿勢 語学を身につけることで積極的な性格になった 物事を穏やかに考えることができるようになった
2010 (平成22) 年度卒業	2012 (平成24) 年度卒業
<ul style="list-style-type: none"> 精神的な成長 7 人間的な成長 5 相手を思いややる気持ち 3 乗り越える力 3 あきらめずにやり遂げる忍耐力 2 感しさ、女性らしさ、無私の行動力 2 考えるよりもやってみる前向きな態度 2 他の人の気持ちを考えられる余裕 2 社交的になった 2 自分に笑顔がふえたのに比例して人間関係がスムーズに行くようになった 自分の長所と短所を知り、短所を改められたこと 自分を第三者的に見つめる努力 	<ul style="list-style-type: none"> 精神面の成長 人間的な成長 相手を思いややる気持ち 乗り越える力 あきらめずにやり遂げる忍耐力 感しさ、女性らしさ、無私の行動力 考えるよりもやってみる前向きな態度 他の人の気持ちを考えられる余裕 社交的になった 自分に笑顔がふえたのに比例して人間関係がスムーズに行くようになった 自分の長所と短所を知り、短所を改められたこと 自分を第三者的に見つめる努力

設問1.2. (卒業学年のみ) 取捨選択なし、全文。

その他書きたいこと	
2010 (平成22) 年度卒業	2012 (平成24) 年度卒業
<ul style="list-style-type: none"> 長い間純心に関われてよかったです。これからは卒業生としてがんばります。 大学4年間、純心は10年間お世話になりました。多くの事を学べました。本当にありがとうございました。 キリスト教徒ではありませんが、純心で内面が美しくあることを学べたのは私の人生において大きなプラスになったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 純心女子大学に入って良かったです。 充実した学生生活を送ることができました、ありがとうございました。 4年間ありがとうございました。 純心大学が大好きです。遠方からきたのですが、私の選択は間違っていないでした。ありがとうございました。 純心で4年間学べたことを誇りに思う。学んだこと、出会った人々、すべてが自分の宝になりました。 人の大きさは肩書でなく内面である。 初めは不意な入学だったのですが、この大学に来て本当に良かったと思います。技術、知識だけでなく「よく生きる」ということを教えていただきました。
2010 (平成22) 年度卒業	2011 (平成23) 年度卒業
<ul style="list-style-type: none"> 長い間純心に関われてよかったです。これからは卒業生としてがんばります。 大学4年間、純心は10年間お世話になりました。多くの事を学べました。本当にありがとうございました。 キリスト教徒ではありませんが、純心で内面が美しくあることを学べたのは私の人生において大きなプラスになったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 心、精神面の成長 9 精神的な強さ 4 受け入れる心、共感、思いやり 4 考える力、想いの豊かさ 4 人と向き合う姿勢、人間関係の築き方 3 あきらめないで努力する根性があった 3 周りの人への思いやり 3 面倒な事、嫌な事でも自ら進んでできる 2 面倒な事、嫌な事を知り、心理的に成長した 2 様々な人と触れ合い、視野が広がった 2 失敗を恐れない前向きな姿勢 語学を身につけることで積極的な性格になった 物事を穏やかに考えることができるようになった
2010 (平成22) 年度卒業	2012 (平成24) 年度卒業
<ul style="list-style-type: none"> 長い間純心に関われてよかったです。これからは卒業生としてがんばります。 大学4年間、純心は10年間お世話になりました。多くの事を学べました。本当にありがとうございました。 キリスト教徒ではありませんが、純心で内面が美しくあることを学べたのは私の人生において大きなプラスになったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神面の成長 人間的な成長 相手を思いややる気持ち 乗り越える力 あきらめずにやり遂げる忍耐力 感しさ、女性らしさ、無私の行動力 考えるよりもやってみる前向きな態度 他の人の気持ちを考えられる余裕 社交的になった 自分に笑顔がふえたのに比例して人間関係がスムーズに行くようになった 自分の長所と短所を知り、短所を改められたこと 自分を第三者的に見つめる努力

所員会による検討

1. アンケートの問題

設問

- ・設問数が非常に多く、かえって調査の焦点がはっきりしないことになった。
- ・問いのかけ方が単純でなく分かりにくいところや別様にも取れる言葉があり、表現に問題があった。
- ・現行のアンケートは統計的処理を踏まえて作成してないので、集計がしにくい上に、入学時と卒業時の差を見るという所期の目的も正しくは果たせないことがわかった。

実施時期

- ・新入学生は最初の「純心講座」(必修)で、卒業学生は卒業前の特別セミナー(全員対象)の日に調査を行って来たが、卒業学生は就職先との関係もあって年により学科によって出席者数が安定せず、入学時との比較が困難である。

2. 集計の問題

- ・今回は回収数に対して統計的な処理を行っておらず、単純集計である。
- ・当初、学科ごとの結果を百分率で示して比較を試みたが、学科ごと、年ごとに回収率に大きな差異がある場合にはこの百分率そのものが実態を表しているとは言えず、学科間の比較も意味がないことになるので、むしろ学科別にこだわらず学年全体の回答実数で見ることにした。
- ・上記の事情により、結果の検討も分析的なものではなく実数に基づく観察となった。

3. 調査から見えること

(1) 全体的に

同じ設問に答えることによって入学時と卒業時の変化がみられることを期待したが、実数で見る限り際立った変化は見られない。自由記述では学生の関心が資格、授業など具体的なものから精神的なものへと移っていることが窺える。

(2) 宗教については、割合としてどの学年も卒業時に「有意義と思う」が増えているが、分からないという答えも多く、回収数の少ない学年もあるので、客観的な実情把握は難しい。

(3) キリスト教への関心は全体的に見ると入学時と卒業時で大きな変化は見られない。関心がある理由としては、過去に家庭、教育機関(幼、中、高、)その他でキリスト教に触れていた経験が大きく影響しており、次いで歴史的、社会的などの知的関心が見られる。

(4) 本学がカトリック大学であることが大学選択の理由になった場合もあるが、

概して影響は少ない。

カトリック大学で学んだことについての卒業時の反応は、3学年を押しなべて見ると「満足」と「特に何も感じない」が相半ばしているようであるが、2010年度卒業生では「満足」の数が少ない(回答者の38%)のが目立つ。はっきりと「不満」とする者も各年1・2名はいる。

(5)宗教的な事柄20項目の中で3学年を通じて「知っている」割合の高いものは、カトリック、聖母マリア、最後の晩餐、ミサ、フランシスコ・ザビエル、新約聖書、旧約聖書など。低いものは、原罪、聖体、マルチン・ルター など。

この場合もデータ上では入学時と卒業時の明らかな差は見られない。また、「知っている」ということをどのような意味合いで受け止めているかには個人差があると思われる。

(6)入学時に本学のキリスト教教育に「期待する」者は回答者の5分の1ないしは3分の1であるが、卒業時には約半数(48, 55, 46%)の者がキリスト教教育から「影響を受けた」としている。「分からない」とする者は、期待の段階では60%前後、影響を考える段階では30%前後である。

(7)神仏の存在、死の概念、科学の可能性、道徳的行動規範についての考え方は常識的である。

具体的な行為についての道徳的判断となると、

- ・道徳的道義的な事柄については、卒業時には世間一般の常識に合わせて許せないと思う者が減って「どちらでもない」が増え、社会的悪については、はっきりと許せないとする傾向が見える。
- ・問い方自体に問題がある。「許せない」という表現は幾通りかにも取られる可能性があり、皆が同じ意味の問いに反応しているとは言えない。可の場合も不可の場合もあるならば、「どちらでもない」を選択することになる。
- ・学生たちは良くも悪くも基本的に「普通」の若者である。看護4年、健康栄養3年で人間の問題として性モラル等を扱うが、アンケートは今の時代に生きる学生たちの平均的な傾向を示しており、自殺、夫婦関係、婚前の性関係などについては、私達の教育の実りをここに見る事はできない。

(8)(9)自分の宗教としても家の宗教としても圧倒的に仏教が多いが、実践的な信仰としてではなく、冠婚葬祭のための形式的な関わり方が大半と思われる。

(10)入学時の期待と卒業時の達成感を対比するが、

- ・入学時には、人格形成やキリスト教の知識など本質的な点への期待や礼儀作法など純心らしさへの期待もみられるが、授業、実習、資格取得等具体的実利的な関心が高い。

- ・卒業学生の達成感、優しさ、礼儀作法、キリスト教的な知識や価値観 など、入学時の期待が満たされた事を示す者もある一方、「マリアさま、いやな事は私がよるこんで」など建学の精神を評価し、実益よりも永続的な目に見えない価値へと関心が移っていることを示している。
- ・18歳から22歳の年齢層は一般的に人間が大きく成長する時であり、ここに現われたものを全てキリスト教教育に帰することはできないが、内的成長にかなりの助けを与え得たと考えてもよいのではないか。

(11)自己の成長の評価としては、内容的に不明確ながら精神的成長が先ず上げられており、思いやり、受容など対人関係のゆとり、困難に立ち向かう強さ、積極性などがあげられ、本学卒業生が職場等で評価されていることと一致する面がある。しかし現実には純心大学卒業生は「打たれ強さ」で評価される所までには行っていない。

(12)「その他」は通例通りの感謝のことばであるが、総括の対象にはならないであろう。それぞれの学生の気持ちとして受け止めておきたい。

4. 本学のキリスト教教育をふりかえる。

(統計学的処理を経していない単純集計と自由記述から読みとれる範囲において)

(1)総括的に：

- ・入学時には資格等見える自分を形成する教育に期待するが、卒業時には内的な成長をもたらした教育を評価していることがうかがわれる。
- ・本学がカトリック大学であることへの否定的評価には、期待が大きかったのに満たされなかったという不満を含む可能性もある。
- ・キリスト教科目が一年次に集中しており(例外;看護4年、こども3年に各I科目)卒業する頃には記憶が薄れるきらいがある。また、担当者も1人なので出来る事に限界がある。
- ・教育を受ける素地である学生の気質傾向として、現1・2年生はいわゆる「ゆとりの教育」を受けて来た世代であり、自己中心的傾向が顕著である。(全体的統一行動がとれず、自分勝手に行動する。)
- ・「ゆとりの教育」の意図は良かったのだが、普遍的な自律の基準を植え付けないまま行ったために、ゆとり=自由=放縦となり、我儘を肯定助長する結果となったのではないか。感謝の心、手を合わせる習慣/心も失われている。キリスト教教育では、人として在るべき姿=自律の基準 を与えることができるし、これが大切な役割ではないか。

(2)保つべきもの:

建学の精神として、聖母に倣う心

- ・奉仕の精神、心遣いの細やかさ(卒業生への評価が高い)
- ・「マリア様、嫌なことはわたくしが、よろこんで」の積極性
- ・インターンシップその他学外での職場体験的実習において、本学学生の取り組みの真剣さ、素直な積極性が高く評価されており、今後とも培って行くべきものである。

(3)今後への課題:

- ・各人の人格形成において「生き方」の基本となる哲学を持つことの大切さ。本学のキリスト教的教育は専門に関わりなく学生たちが自分の生きる姿勢を形造って行くための重要なヒントを与えるものであるから、教育計画の芯におかれるべきものである。教科として行われるものと、全学の体制、行事、雰囲気をとおして与えられるものがある。
- ・カリキュラム編成においてキリスト教関係教科、人間学的教科の配置を再検討し、入学時に紹介的に行われたものが上級学年で社会人となる時に向けて問題意識が変わってくる段階を追って与えられるようにする必要がある。同じ問題でも上級学年への提示の仕方は違うし反応も当然違ってくる。
- ・アセンブリー・アワーの内容の再検討
もともとアセンブリー・アワーは建学の精神の涵養を目指し、また学生間、教(職)員と学生間の親睦をはかる目的で設定されたはずであるが、現在はキャリア関係の行事に大半が使われており、各クラスでは話し合いの時間も十分とれない状況である。実績データにつながる諸行事も大切であるが、本来の目的に立ちもどって見る必要があるのではないか。
- ・教職員側の問題として
キリスト教的人間教育は、教科として特化されたもののみを指すのではなく全教科の授業から学生が受け取るもの、教員の生きざまから感じ取るもの、大学行事のカラー、自然的人為的環境から得るものなど、全てによるものである。
したがって教員が異なる専門と人格、個性の奥底に人間としての在りようを共有し同じ方向を向いていることが大切である。これは思想の強制ではなく私学としてのアイデンティティの問題であり、各教職員は採用に際してカトリック大学としての本学の特質を説明され、納得して職についている筈であるから、この点を深めるための研修を充分に行うことは大学側の役割であろう。初任者、中堅、経験の長いものそれぞれに活性化が必要であり、互いの交わりを通して学び合う必要もある。単発の行事としての教職員研修の他に(あるいはこれを

含めて)永続的な教員、職員研修のプログラムが必要である。これは事務的技術的研修とは別に計画されるべきものである。

- ・スタッフの中には修道女教職員もいるが、無言のうちに影響与えるだけの内的深さと豊かさを持ち得ているか、反省させられる。
- ・アドミッション・ポリシーの記述においても、人間教育への言及が少なくなり、資格試験、検定結果などに数字として現われる実力養成に重点が集中し勝ちになっていないか。職場への調査によっても、現在企業は成績よりも人間を重視して採用する傾向にある事実に鑑みて、本学のミッション・スクールとしての教育的アイデンティティをしっかりと打ち出すべきものと思われる。

5. 本調査の今後について

- ・現行の調査は2013、2014、2015年度卒業生(2014、2015、2016年3月卒業予定)迄は入学時の調査が実施されているが、2013年度卒業生についてのみ卒業生用調査を行う。
- ・その後の「キリスト教に関する意識調査」の継続については今後の検討課題とする。
- ・調査を継続するとすれば、目的を明確単純にし、方法的には統計に詳しい人の協力を得て目的とする点についての結果が正しく読みとれる形の様式を考える。

以上